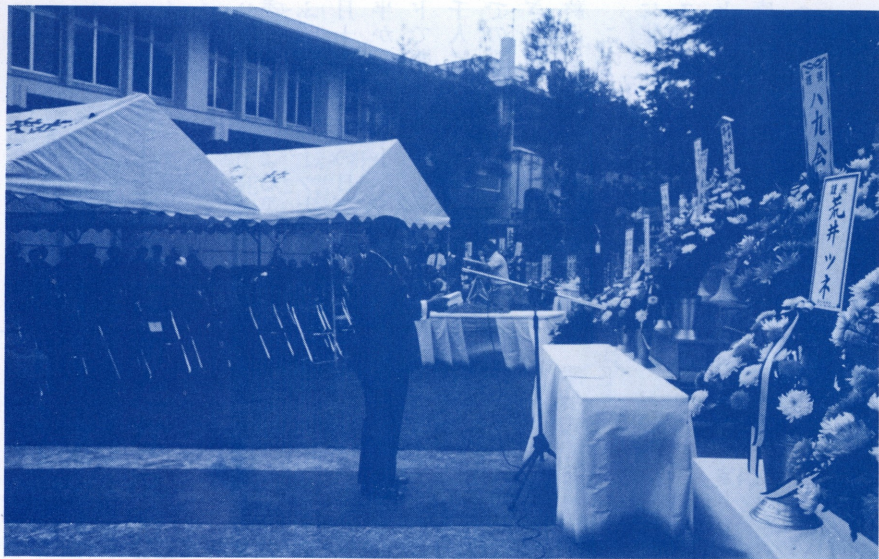




本町で初めて行われた町主催による戦没者追悼式＝10月25日、西原の塔で県内外から関係者約300人が参列、戦没者7千余柱の英霊を追悼した(写真は「平和宣言」をする平安町長)

戦後40周年に新たな反戦平和を目指して

初の町戦没者追悼式行う

平安町長 高らかに「平和宣言」

戦後四十周年の節目に当たり平和を願う心を新たにしようとの町戦没者追悼式(町主催)が、十月二十五日午後二時から西原の塔でしめやかに行われた。式場には、県内外からの関係者約三百人が参列、戦没者七千余柱の英霊の追悼を行うとともに反戦平和の誓いを新たにしました。式典では、黙とうの後に平安恒政町長による式辞、追悼

のことは(翁長正昌町遺族会長、山崎邦夫元石部隊第十一大隊昔陽会会長、井上庄司元山部隊八九会会長、各種民主体等の代表者による献花(西原高校吹奏楽部演奏による「オーゼの死」が流れる)、計局より第一次集計結果が発表されます。

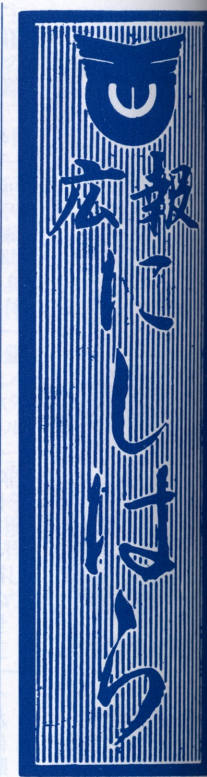
平和宣言

我が郷土は、第二次世界大戦において多くの尊い生命、財産及び文化的遺産を失った。戦争は、人々の悲しみを生み、惨禍を背負わせ破壊を招く。我々はこのことを身を持って体験した。平和がいかに大切か、我々は戦争を知らない世代が多くなるにつれ世界の恒久平和を強く訴え続けなければならない。このことが戦争で亡くなった英霊への供養であり新しい時代のためになすべき我々の責務であると信ずるからである。しかるに今なお、国際間の緊張と紛争は絶えず、まして宇宙での軍備化が進んでおり世界平和が脅かされていることは、誠に遺憾である。我々は戦後四十周年の節目に当たり、平和を願う心を新たにし、世界の恒久平和実現のため反戦平和を貫き、なお一層努力することを二万余の町民の名において内外に宣言する。

昭和六十年十月二十五日

西原町長

平安恒政



発行人
西原町役場
〒903-01
西原町字嘉手苅112番地
電話(09894)-5-4533
印刷
(協)丸正印刷

町の世帯・人口	
(60年9月現在)	
世帯数	6,417世帯
人口	21,963人
男	11,274人
女	10,689人
9月の人口移動	
出生	38人
死亡	5人
転入	180人
転出	79人
婚姻	11件
離婚	3件

59年度町一般会計決算等を認識

工場適地排水路・道路、整備へ

第6回町議会定例会

昭和六十一年度町一般会計決算及び町特別会計予算の補正②町水道事業の設置に関する条例の一部改正③池田・大名線道路改良工事・町民体育館新築工事の契約額変更、小那覇工場適地排水路及び道路整備工事の請負契約の締結(五九〇〇万円)など。

また、認定は①昭和五十九年度町一般会計歳入歳出決算(歳入四億五千万五千五百八十八円、歳出四億三千八百一十七万五千八百一十八円、歳入歳出引当額六千七百七十六万二千二百円)②同年度町水道事業会計決算(収益的収入四億八千八百六十三円、収益的支出三億五千三百六十八円、資本的収入二億三千八百一十八円、資本的支出二億三千八百一十八円、歳入歳出引当額六千七百七十六万二千二百円)③同年度町国民健康保険特別会計歳入歳出決算(歳入五億八千九百九十二万六千八百一十八円、歳出五億八千九百九十二万六千八百一十八円、歳入歳出引当額六千七百七十六万二千二百円)④同年度町老人保健特別会計歳入歳出決算(歳入三億六千六百六十二万八千三百五十五円、歳出三億六千六百六十二万八千三百五十五円、歳入歳出引当額六千七百七十六万二千二百円)などを審議し認定した。

さらに、決議案件は①首里城復元等首里城公園構想にかかる予算確保に関する決議②国保財政の危機打開に関する意見書であった。

町職員人事異動

平良栄一さん(税務課主幹)が九月三十日付で、宮平宗益さん(福祉課長)が十月一日付で退職されました。平良さんは、昭和四十八年一月より役場入りし、五十五年一月に税務課固定資産評価補助員を経て固定資産評価員(主幹)に就任、税務行政の



宮平宗益さん



平良栄一さん



大城盛孝さん

大城さん緑化 功労で表彰

沖縄都市緑化祭で

ふやそう緑・育てる心をテーマに十月十九日午後二時から沖縄市民会館で沖縄県、沖縄総合事務局、沖縄県市町村共催による「沖縄都市緑化祭」が開かれた。その日、昭和五十七年から今まで週一回の割合で本町内児童公園の樹木の手入れ、清掃、除草などを実施し緑化に貢献している、として都市公園功労者・大城盛孝さん(四四歳)「字内間八五」が表彰された。

健康増進とふれあいをめざして

町民ふれあいスポーツ大会

成功裏に閉幕

町社会福祉協議会、町教育委員会共催による第一回町民ふれあいスポーツ大会は、十月十日（体育の日）午前九時半から西原東小学校グラウンドで開かれた。会場には、約千人に及ぶ子どもから老人までの町民が参加し、大変な賑わいを見せ成功裏に大会を終えた。

この大会は、全町民が一堂に集い、レクリエーションやスポーツを通して相互の理解と親睦を深めるとともに、健康保持・増進と地域社会活動への参加を図るのがねらい。

三名がカジマヤーを迎える

町内を道ジュネーイ

平安町長も祝賀会に出席

今年、町内で花のカジマヤー（数え年九十七歳の生年祝で旧暦九月七日に行う）を迎えられた方々は、豊平オトさん（翁長90）、新川定吉さん（小那覇81）、津波千代さん（小那覇275）特別養護老人ホーム守礼の里の三名です。一度に三名も迎えたのは本町では、はじめてのでき事。



豊平オトさん



新川定吉さん



津波千代さん

豊平さんのお祝いは、都合があつて盛大には行われなかったが、新川さん並びに津波さんの花のカジマヤーを祝う区民総出、守礼の里職員関係者総出による町内一円を巡る道ジュネーイ（パレード）が十月二十日にそれぞれ盛大に行われた。

また、その日、守礼の里主



健康増進とふれあいをめざして行われた第1回町民ふれあいスポーツ大会＝10月10日、西原東小学校で

開会式に当たり去った十月六日に奥武山陸上競技場で開かれた沖縄県身体障害者スポーツ大会で金メダル（五人）、銀メダル（三人）を獲得した方々の紹介も行われ、参加者全員から激励の拍手が送られた。

「ご健闘をお願いしたい」と述べた。また、その日、平安町長、親泊議長も駆けつけ、激励のあいさつに立ち、地域づくりのためにも有意義な大会であると強調していた。

催の津波さんの祝賀会は、午後二時から守礼の里駐車場広場で、小那覇自治会主催の新川さんの祝賀会は、午後四時から中央公民館でそれぞれ開かれた。両方の祝賀会には、平安恒政町長も招待され、祝辞を述べて長寿を祝った。

呉屋の与儀さん
社協に30万円寄付

「八十五歳の生年祝を簡素化してそのために用意していたお金を社会福祉に役立てて下さい」と宇呉屋一〇の与儀カメさんは、十月九日午後、町社会福祉センターを訪れ、



町社会福祉協議会に三十万円の寄付を行った。宇呉屋一〇の与儀カメさんは、十月九日午後、町社会福祉センターを訪れ、

訂正おわび

十月十日発行の広報にしはら第一六五号二面「国民年金の第三号被保険者の届出」に関する記事の中で「昭和六〇年一月三十一日」とあるのは「昭和六一年一月三十一日」の誤りですので訂正します。

牛、豚の品種向上をめざして

関係者詰め駆けにぎわう

町畜産共進会

町内の畜産振興を図ろう、と町農業協同組合（城間光雄組合長）主催の昭和六十年



町畜産共進会が、十月八日、中部製糖第二工場跡広場で開かれた「写真。出品頭数は牛三十頭、豚五十六頭。会場には、畜産関係者多数が詰め駆け大変にぎわった。

なお入賞者は次の通り。

※敬称略、（ ）内は住所

- 【特別賞・豚の部】町長賞・野国昌敏（池田）、議長賞・呉屋幸助（呉屋）、農業委員会会長賞・棚原三郎（森川）
- 【特別賞・牛の部】町長賞・仲宗根孝正（幸地）、議長賞・宮城安夫（小橋川）、農業委員会会長賞・稲福勤（小橋川）
- 【未経産豚の部】一等・新田宗善（与那城）、二等・安座間喜永（森川）、三等・許田清喜（徳佐田）、二等・席・呉屋幸助（呉屋）、二等・席・呉屋幸一（呉屋）
- 【経産豚の部】一等・泉川寛弘（上原）、二等・泉川寛弘（上原）、三等・泉川寛弘（上原）
- 【経産豚の部】一等・泉川寛弘（上原）、二等・泉川寛弘（上原）、三等・泉川寛弘（上原）
- 【若齡雄豚の部】一等・宮城正信（小橋川）、二等・外間亀吉（幸地）、三等・喜屋武栄光（池田）、二等・一席・沢砥徹（幸地）、二等・二席・与那嶺栄助（幸地）
- 【未経産二類】優等・稲福勤（小橋川）、一等・沢砥徹（幸地）、二等・一席・与那嶺栄助（幸地）、二等・二席・喜屋武善吉（池田）
- 【経産二類】優等・一席・与那嶺政子（幸地）、二等・外間亀吉（幸地）
- 【経産二類】優等・一席・与那嶺孝正（幸地）、二等・外間亀吉（幸地）
- 【去勢牛一類】優等・稲福勤（小橋川）、一等・翁長太郎（幸地）

県民手帳予約
は町企画課で

この県民手帳は、沖縄県および県内市町村、各都道府県の日常生活に役立つ資料や知識を収録しています。大判五百円、ポケット判二百六十円の二種類。

この県民手帳を予約注文されたい方は、町役場企画課（電話五―四五三三）に十二月十日までにお問い合わせ下さい。



本町代表大活躍

県身体障害者スポーツ大会

沖縄県身体障害者福祉協会主催の第二十一回沖縄県身体障害者スポーツ大会が、十月六日に奥武山陸上競技場で開かれた。本町からも九名の代表選手が出場、各種目で健闘



第21回身体障害者スポーツ大会で活躍し、金メダル、銀メダルを獲得した本町代表の選手の方々

大活躍し、金メダル五個、銀メダル三個を獲得した。

この大会は、スポーツを通して体力増強を図り、障害者の自立更生の実をあげ、さら

に一般社会の身体障害者に対する正しい認識の向上を図る、というのがねらい。競技種目は、いづれも障害程度別に行われた。

なお競技結果は次の通り。

【金メダル】

砲丸投 大城英光、立幅跳び 稲福恭光

ハンドボール 投 玉那覇春子、ソフトボ

ール投 糸数

豆剣士ハッスル

剣道なぎなた大会

町体協(平安恒政会長)主催の剣道・なぎなた大会が、九月八日午前十時から西原小体育館で開かれた。会場には百二十人の少年少女が参加、



酔っていないと思っても体は十分酔っています

飲酒運転の防止

「オラは死んじまっただろ」という歌が昔流行したことがありますが、この歌は酔っ払い運転をして死んでしまった人のことをパロディ化したものですが、この歌でも分かるように酔っ払い運転は、死を背負った運転といえます。酒酔い運転はもちろんのこと、酒気帯び運転も道路交通法で禁じられていることは、

飲んだら乗るな

を与えます。

十一月から一月にかけては、何かとお酒を飲む機会が増えます。「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を地域や職場、家族ぐるみで実践しましょう。

また、酒類を提供する飲食店経営者の方は、車を運転するお客さんにはお酒を出さないとか、万が一飲んだときは車のエンジンキーを預かるなど、真に思いやりのある配慮をしてあげましょう。

寄付お札

字嘉手苅一〇二の具志川花輪葬祭センター・有限会社南誠社西原支店(大城経吉店長)は、九月二十日午後、開設を記念して地域の社会福祉のために役立てて下さいと町社協

に二十万円を寄付した。贈呈式は、町長室で行われ、大城店長から平安町長にお金 hands 渡された。

平安町長は「老人、身障者、母子家庭などの福祉に有効に役立てていきたい」とお札を述べた。

ブルネイ青年、空手一日入門

与那城の外間道場に

総務庁によるアセアン青年招へい事業の一環として十日間の日程で沖縄を訪れていたブルネイ(ボルネオ島北西部の独立国、人口二〇万人)の青年十名が、九月十五日午後二時半から本町与那城二七七-三三の外間空手道場(外間哲弘師範)で沖繩空手一日入門を行った。写真。ブルネイ青年たちは、外間先生や門下生たちから模範演技の披露、組手の指導を受け、沖繩空手の真髄に触れ良い汗を流した。青年たちは、三十歳前後で職業は九人が公務員。



税を知る週間

国は、私たち国民が豊かに安定した暮らしができるように、幅広い活動を行っていただきます。

税金は、国が活動するための大切な財源であり、いわば共同社会を維持するための会費であるといえます。

このように重要な役割を果たしている税金について、その仕組みや使いみちを十分に

建設労働者雇用改善推進月間(11月)

本県の建設業は、事業所数で全体の約五パーセント(三千)、従業者数で十二パーセント(三万四千人)と県経済に大きなウェイトを占めています。

建設労働者は、雇用関係が不明確であること、雇用が不安定であること等から、多くの改善を要する問題があります。

公民館まつり、11/30~12/1に開催

- ◎趣旨 「地域に学び地域を育てよう」と住民参加による地域文化の継承と地域活動の拠点としてあらゆる層を対象に学習の機会とコミュニティづくりの場として活動する公民館が日頃の活動状況や各団体の活動内容等を発表し合いお互いの交流を図るとともに多くの町民に参加を呼びかけ今後の公民館活動の振興を図る。
- ◎主催 西原町教育委員会(中央公民館)、公民館まつり実行委員会
- ◎日時 11月30日午後2時~12月1日午後4時
- ◎場所 中央公民館
- ◎プログラム 11月30日(午後2時~映画、3時~開会式、3時30分~映画、5時~前夜祭)、12月1日(午前9時~12時=コーナー活動、午後1時~4時=舞台発表「少年少女コーラス、琉球舞踊、民謡、平安町長による講話・生涯学習と地域活動、ヨガ実演、着付実演、フォークダンス、ギター演奏」、7時~=後夜祭・ダンスパーティー)

文教のまちづくりシンポジウム

11月16日に開催

◎趣旨 昭和57年に基本構想を策定しその将来像を「文教のまち西原」と設定しました。そのことは、国立琉球大学を本町のまちづくりの核として位置づけ本町の地理的、自然的、社会的諸条件を有機的に結合したまち、全生涯学習を通して情操豊かな人間性の育成と教育文化のかおり高いまちの形成を展望したものであります。今回のシンポジウムの開催は、町政の主人公は町民であるという自治本旨に立脚し町民の和を基調にして町民との対話行政を確立し本町の将来像である「文教のまち西原」の建設を実現することを目的としたものであり、町民はもとより各界各層の意見や発想あるいは御指摘を拝聴し今後の町政、まちづくりに反映していくことにしております。

◎主催 西原町

◎テーマ 「21世紀を展望した人間性豊かな明るい文教のまち西原」をめざして

◎スローガン 町民の連携を密にし融和を基調とした人間尊重の行政

◎日時 11月16日(土) 午後2時～6時

◎場所 西原町中央公民館大ホール

◎参加対象者 全町民

◎プログラム 記念講演「西原町の課題と展望」(講師=真栄城守定沖縄県地域科学研究所所長)／パネルディスカッション(討議)＝討議内容(①本町の土地利用と今後の方向性②教育文化の振興③産業の振興と地域活性化について)、パネラー(助言者=比嘉清一沖縄県総務部次長、玉城政光琉球大学教授、呉星秀信金秀鉄株式会社社長、主催者側=平安恒政町長、稲福恭助教育長)、コーディネーター=総合司会(真栄城守定沖縄県地域科学研究所所長)／質疑、討論(参加者全員)

◎お問い合わせ 西原町企画課 ☎5-4533、5-5011～3

昭和60年度町産業展示会

11/30、12/1に開催

◎趣旨 本町で生産される農産物、花卉、農産加工品、手工芸品等を一堂に展示して広く町民に公開しこれを賞賛し農家の生産意欲の高揚を図り、地域農業の発展と振興に資することを目的とする。

◎主催 西原町

◎日時 11月30日午後1時～5時

12月1日午前9時～午後4時

◎場所 町社会福祉センター

◎出品資格 西原町に住所を有する生産者

◎出品物 農産物、農産加工品、手工芸品、花卉、盆栽、果実

◎表彰式 12月1日午後4時から中央公民館で

◎お問い合わせ 西原町産業課 ☎5-5013

宜野座村誌に
情報提供を

現在、宜野座村では、村誌第二巻「移民・開墾・戦争」編の体験聞き取り調査を行っております。昭和二十年～二十一年に宜野座村で収容生活をされた方々の情報をお寄せ下さい。連絡先 〒904-113 宜野座村字宜野座三二四一、宜野座村誌編集委員会事務局 TEL〇九八九六八五一(代)

辻野(円盤・ハ)、比嘉(投・ヤリ)、仲本(四十代)が優勝

一般男子、壮年とも二位

中頭郡陸上

第十三回中頭郡陸上競技大会(九市町村参加)が、十月二十日、沖縄市宮陸上競技場で開かれた。本町代表は、各種目で健闘を見せ、一般男子の部(61・5点)、壮年の部(34点)とも二位と僅少差で惜しくも三位になった。

なお、上位入賞者は次の通り。(○内の数字は順位)。

【一般男子】二百㊦★城間正和(23秒7)▽四百㊦★宜保栄(53秒4)▽八百㊦④伊波康成(2分5秒9)▽二千㊦②★比嘉政則(1時間23分55秒3)▽四百㊦ハードル③伊波康成(1分2秒4)▽四百㊦R③太田、大城、新垣、城間(46秒0)▽千六百㊦リレー③小橋川、新田、伊波、宜保(3分41秒8)▽走り高跳び②小橋川茂1㊦80▽円盤投①★辻野隆夫(34㊦98)▽ヤリ投①★比嘉靖(58㊦18)▽ハンマー投①★辻野隆夫(46㊦96㊦大会新)

【三十代】百㊦③新川善勝(12秒4)▽走り幅跳び③新川善勝(5㊦74)▽円盤投③新垣茂夫(30㊦78)【四十代】百㊦①★仲本良雄(12秒1)【五十代】百㊦③大城盛安(13秒6)▽年齢別四百㊦リレー②新垣、大城、新川、仲本(46秒2)

【女子】八百㊦③大城文子(2分52秒2)▽百㊦ハードル③金城つや子(19秒4)▽走り幅跳び②★具志堅直美(4㊦37)▽ヤリ投③城間律子(26㊦82)

※は11月16日、17日、沖縄市で開かれる県大会に派遣される中頭代表選手。



辻野隆夫さん



比嘉 靖さん



仲本良雄さん



第12回中頭中体連陸上競技大会(Aブロック)男子の部で初優勝に輝いた西原中学校陸上部員(全員)と先生方及び関係者

第十二回 総合でも三位に食い込む健闘を見せ、創立以来の快挙を成し遂げた。

中頭中体連陸上競技大会(Aブロック)十八校参加)が十月十六日、沖縄市宮陸上競技場で開かれた。

大城吉明監督が率いる西原中(男子71点、女子43・5点)は、男子の部で悲願の初優勝を飾り関係者を喜ばした。

また、男女

【一位】二年男子千五百㊦前泊正人(4分52秒2)▽一年男子千五百㊦★宮平政史(4分53秒0)▽共通男子走り高跳び★安村賢司(1㊦70)▽共通男子砲丸投★鉄本勝美(13㊦20)▽共通女子走り高跳び★真謝知子(1㊦45)(★は11月10日、名護市で開かれる県大会に派遣される中頭代表選手)

【二位】共通男子棒高跳び安村賢司(2㊦70)

【三位】共通男子二百㊦★阿波連貴明(24秒1、八百㊦リレー中頭代表)、二年男子走り高跳び仲里高雄(1㊦60)、

西原(男子)、悲願の初優勝

中頭中体連陸上競技大会

共通女子千五百㊦知念さや子(5分35秒2)、共通女子百㊦ハードル佐和田美栄子(20秒2)

【四位】共通女子砲丸投仲筋政美(9㊦16)

国際結婚をし
た夫婦の離婚

近年、国際結婚が増加して

いる反面、生活環境や習慣の違いなどから夫婦関係が破たんに至るケースも少なくありません。国際結婚をした夫婦が不幸にして離婚をしようとする場合、お互いの協議によるだけで離婚は可能か否か、夫又は妻のどちらの国の裁判所が離婚の裁判を行うべきかなどといった法律問題が生じます。離婚の手続等の詳細については、最寄りの家庭裁判所に御相談ください。